

流域揭示板

『身近な水環境の全国一斉調査』に参加してみませんか？

新河岸川流域では、毎年6月の第1日曜日に行われている「身近な水環境の全国一斉調査」に取り組んでいます。令和5年度には20回目を迎え、34の団体が新河岸川流域各地で調査を実施しました。令和6年度も多くの市民団体の皆さんや、学生さんが協力してこの取り組みに参加する予定です。また、調査結果は水質マップとしてとりまとめ、水質調査に参加される団体の皆さんに配付しています。「水質調査をやってみたい！」「近くの川の様子を知りたい！」という方は、右記のお問い合わせ先にご連絡ください。ぜひ一斉調査に参加して、一緒に身近な川の環境を調べましょう！



2023年の一斉調査の様子



お問い合わせ先

新河岸川水系水環境連絡会 代表 菅谷
TEL：090-2642-9442
E-mail：musasisugaya@yahoo.co.jp

『いい川・いい川づくりワークショップ』において、黒目川での活動の発表が表彰されました！

令和5年9月30日～10月1日に、仙台市の東北大学で第15回いい川・いい川づくりワークショップが開催されました。全国からエントリーした31団体の中から、埼玉県朝霞市の「黒目川筋肉部」が入賞し、さらに若者の活動を奨励する特別賞（森清和賞）を受賞しました。「黒目川筋肉部」は、黒目川朝霞地区で毎月の魚類調査、一日水族館、水質調査・クリーンエイド、川まつり、小学校の総合的学習などに取り組む「黒目川に親しむ会」における若手の集まりです。同会では、発足から20年近くが経ち、初期世代の引退と入れ替わりに、魚類調査に参加し始めた若者が実働部隊となり新世代の活躍の場が広がりました。これまで60代や70代の方が務めていた川まつりの実行委員長は、令和5年度においては、40代の女性と23歳の大学生が共同で担いました。市民活動団体の高齢化、後継者不足が課題とされる中、小学生を中学生が、中学生を高校生・大学生がサポートする等、若い仲間を増やし、新たな後継者を生む活動が注目されています。



全国のイベントで表彰されていてすごいね！

事務局だより

2月13日（火）に令和5年度第3回新河岸川流域川づくり連絡会をオンラインで開催しました。

令和5年度第3回連絡会では令和5年12月17日（土）に開催した「第19回川でつながる発表会」の開催報告や令和5年度の活動の振り返り、を行いました。また、後半では令和6年度の活動方針について、参加者で意見交換を行いました。



第3回連絡会の様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

令和6年度の新河岸川流域川づくり連絡会は、3回の開催を予定しています。参加希望の方は事務局宛にお問い合わせください。

しんぶん里川掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などをFAXまたははがきなどで下記連絡先までお寄せ下さい。

■ 連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
（国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所 流域治水課）
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



VOL. 103

発行 新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 流域治水課）
住所 東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日 令和6年（2024）2月29日



もうりまさのり
切り絵 毛利将範

切り絵の解説

今回の切り絵は、新座市野寺三丁目にある、「野寺親水公園」です。バス停「貝沼」から住宅街を進むと、大きな林に行き当たります。1ヘクタール弱の林の中に湧水があり、しばらく静かに見ていると、シメやシジュウカラ、メジロ、スズメが1羽ずつ順番に水を飲み、そして飛び去っていきました。

目次

- P2～3 第19回川でつながる発表会 開催報告
- P4 流域揭示板、事務局だより
- P5 特集：気候変動について考えてみよう

寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調にはくれぐれもお気を付けください。

今号の中間では、第19回川でつながる発表会の開催報告を掲載しています。令和5年度は新座市で開催し、60名ほどの方にお越しいただきました。特集記事では、気候変動について取り上げています。河川への影響や気候変動に対する取り組みについて考えてみましょう。

ぜひご覧ください！

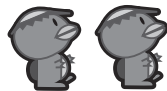
第19回川でつながる発表会開催報告

令和5年12月17日(日)に「第19回川でつながる発表会」を開催しました。午前は新座市内の歴史や水循環に関する現地の見学として「野火止用水」と「妙音沢」を見学しました。午後からは新河岸川流域内で活動している高校生が、水質や生き物、環境などを対象にしたさまざまな学習・研究などの活動成果を発表し、参加者同士の交流を行いました。

開催概要	
開催日時	令和5年12月17日(日) 10:00~16:00
開催場所	野火止用水、妙音沢 新座市立歴史民俗資料館
参加人数	延べ58名

プログラム

10:00	開会式	
10:10	見学会	野火止用水、妙音沢を見学しました。
13:15	発表会	新河岸川流域で活動する高校生が、日頃の学習や取り組みの成果について発表しました。
14:35	交流会	市民団体や学校による日頃の取り組みについてのポスター展示、水質分析体験、歴史民俗資料館ツアーなどを通じ、参加者同士の交流を行いました。
15:50	閉会式・表彰式・記念撮影	



大変良くて良かったです！

交流会



きれいな水が湧き出ていたね！



見学会

野火止用水



妙音沢



新座市立歴史民俗資料館の職員や、新座市観光ボランティアガイド協会の皆さんに説明いただきました。



今回の発表で様々な知識や交流を持ちました。



10代男性

初めての参加でしたが素晴らしい発表でした!! 彼・彼女らの今後に期待しています。



50代女性



10代女性

発表会

埼玉県河川におけるエビの生息環境と高麗川における外来エビと在来エビの分布の推移



所沢北高校化学部の水質調査



黒目川における環境調査



川越女子高等学校



所沢北高等学校



立教新座高等学校



(コメンテーター)

(コメンテーター)

(コメンテーター)

気候変動について考えてみよう



ちきゅう ふつとう
地球が沸騰している！？

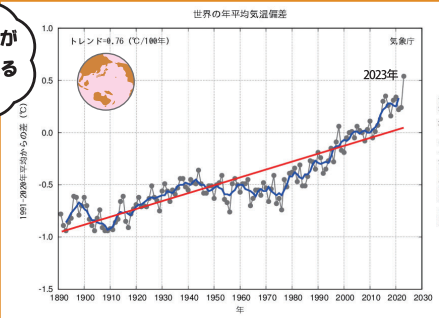
ひだりした ちきゅう ぜんたい へいせん きおん へんか みぎした
左下のグラフは地球全体の平均気温の変化、右下のグラフは日本の平均気温の変化を表しています。

ねんかん ちきゅう ぜんたい やく ど ねんかん やく ど きおん じょうしょう
100年間で地球全体では約0.76度、日本では約1.35度気温が上昇しています。

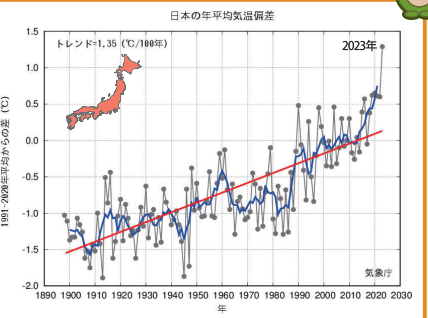
にほん ねんかん
日本では、2023年は、記録を取り始めてから最も平均気温が高かったんだって！



きおん
どんどん気温が上がってきているんだね。



(出典：気象庁)

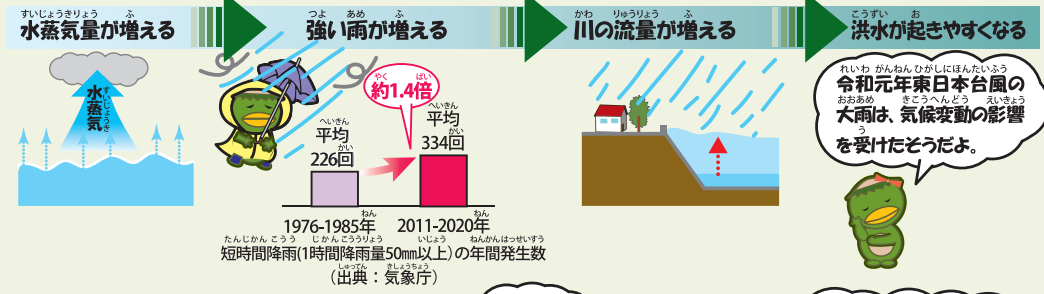


しんがしがわりゅういき
新河岸川流域でも色々な影響がありそうだね。



かわ えいきょう
川にはどんな影響があるかな？

①風水害の起きやすさ



れいわ がんねん ひかしにほんたいふう
令和元年東日本台風のおおめ きこうへんどう えいきょう
大雨は、気候変動の影響を受けたそうだよ。



②生き物の住みか



きこうへんどう
気候変動とは、**気温と気象パターンの長期的な変化**のことです。石油などの化石燃料を燃やすことによる**温室効果ガスの発生が原因**とされています。



わたしたちには何ができるんだろう？

どちらも大切な取り組みだね。



きこうへんどう たいおう
気候変動にみんなに対応するために、大きく分けて「**適応策**」と「**緩和策**」の2つの取り組みがあります。

あまみず こうてい た
雨水を校庭などに貯め、まちを洪水から守る

たいようこう ふりよく さいせい
・太陽光、風力などの再生可能エネルギーを使う
・節電家電を使う

あんぜん ばしょ へや
・安全な場所に早く逃げるために、大雨に関する情報を集めて確認する
・避難場所の位置とルートを確認する

このルートだね！

ていぼう せいび かわ はんらん ふせ
堤防を整備して、川の氾濫を防ぐ



かせきねんりょう つか りょう
化石燃料を使う量を減らすことも対策なんだね。



くるま か と ほ
車の代わりに徒歩や自転車移動する

みどり きこうへんどう げんいん
緑は、気候変動の原因の1つである二酸化炭素を吸収してくれるよ。

